

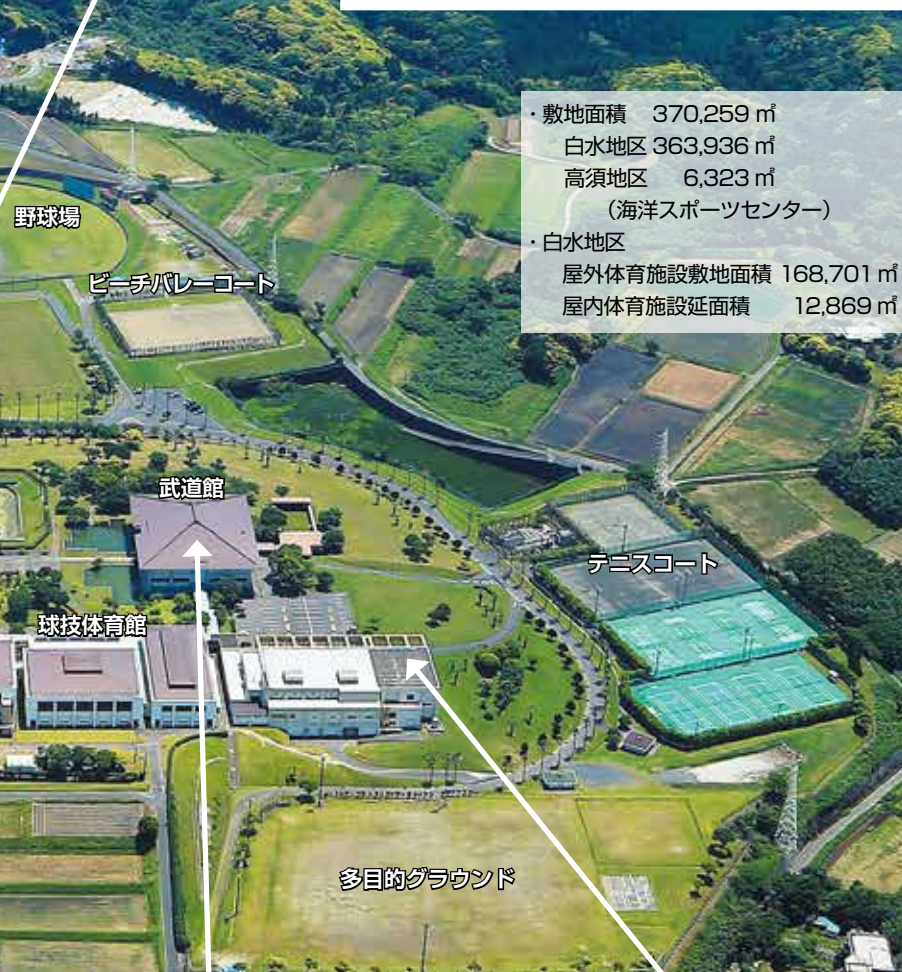


● NIFS GALLERY
開学 30 周年を記念して開所。本学にゆかりのあるオリンピック選手のメダルやユニフォーム、研究成果のパネルなどを展示



● 海洋スポーツセンター 錦江湾に面した鹿屋市高須町に位置

・敷地面積 370,259 m²
白水地区 363,936 m²
高須地区 6,323 m²
(海洋スポーツセンター)
・白水地区
屋外体育施設敷地面積 168,701 m²
屋内体育施設延面積 12,869 m²



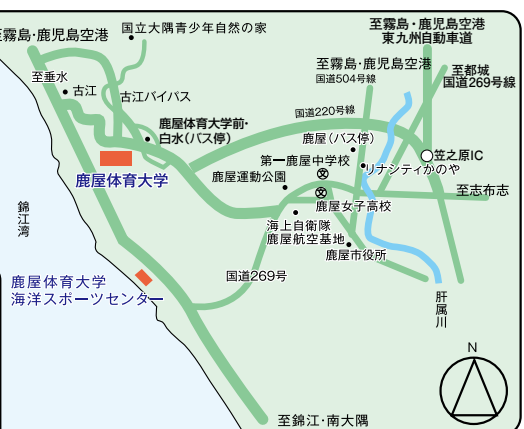
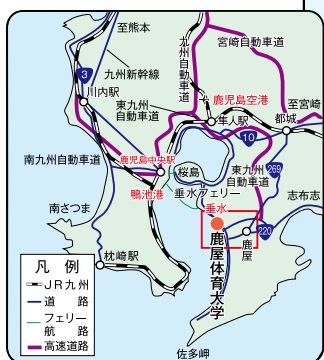
● 柔道場 (武道館 1F)



● 屋内実験プール

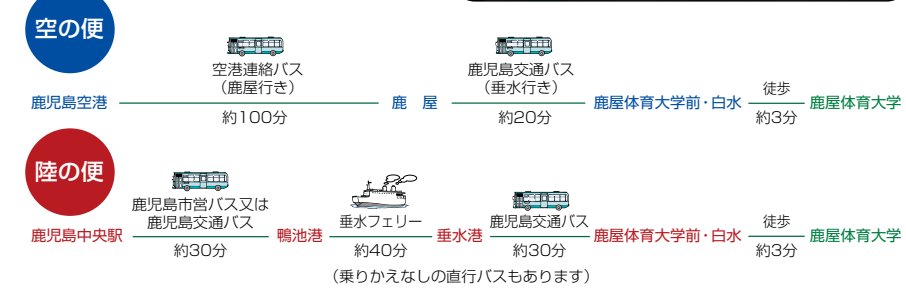
位置図

鹿屋体育大学
鹿屋市白水町 1 番地
鹿屋体育大学
海洋スポーツセンター
〒 893-0054
鹿屋市高須町 2457 番地



鹿屋体育大学東京サテライトキャンパス
〒 108-0023
東京都港区芝浦 3-3-6
東京工業大学キャンパス・イノベーションセンター内

本学までの交通機関



問合先一覧

入試・オープンキャンパス等	教 務 課	☎0994-46-4869	nyushi@nifs-k.ac.jp
履 修・各種証明書等	教 務 課	☎0994-46-4865	kyoumu1@nifs-k.ac.jp
就 職・求 人	教 務 課	☎0994-46-4883	gaku-in@nifs-k.ac.jp
施 設 見 学	総 務 課	☎0994-46-4816	soumu@nifs-k.ac.jp
公 開 講 座	総 務 課	☎0994-46-4818	kouhou@nifs-k.ac.jp
施 設 利 用	施 設 課	☎0994-46-4852	sisetu@nifs-k.ac.jp
附 属 図 書 館	学術図書情報課	☎0994-46-4874	jyo-sa@nifs-k.ac.jp
海 洋 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	海洋スポーツセンター	☎0994-47-2758	kaispo@nifs-k.ac.jp
東京サテライトキャンパス	東京サテライトキャンパス	☎03-5440-9066	satellite@nifs-k.ac.jp



国立大学法人
鹿屋体育大学
〒 891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町 1 番地
TEL 0994-46-4111・FAX 0994-46-2831
URL https://www.nifs-k.ac.jp/



公式 HP



公式マスコットキャラクター
パララン

National Institute of Fitness and Sports in KANOYA 2020



スポーツで
未来を拓く
自分を創る



● 柴田亜衣選手アテネ五輪記念モニュメント



● スポーツパフォーマンス研究センター
スポーツ現場の実践知を科学的エビデンスとして創出し、活動現場へ還元するスポーツパフォーマンス研究を推進するための、国内初の最先端研究設備を備えた屋内研究施設



構 内
ストリートビュー



● 大学正門



● トレーニング環境シミュレータ
(スポーツトレーニング教育研究センター内)



● 体操練習室 (総合体育館 2F)



国立大学法人
鹿屋体育大学

■大学の基本的目標（中期目標の前文より）

～スポーツで未来を拓く自分を創る～

国立大学法人鹿屋体育大学は、全国でただ一つの国立の体育系大学という特性を十分に活かし、健全な身体と調和・共生の精神を併せ持つ人材の育成に必要な不可欠なスポーツ・身体運動を通じて、創造性とバイタリティに富む有為の人材を輩出するとともに、体育・スポーツ学分野における学術・文化の発展と国民の健康増進に貢献し、もって健全で明るく活かに満ちた社会の形成に寄与する。

以上の目的を実現するため、教育、研究、社会貢献及びグローバル化に関する基本目標を以下のとおり掲げ、社会の信頼に応えられるよう自己変革しつつ、個性輝く大学を目指す。

【1】教育に関する目標

学 部:スポーツ・健康・武道分野における研究成果に基づいた教育を通じて、国民のスポーツ、健康及び武道を適切に指導し得る専門的知識、実践力・実技力や指導力を有し、広くは国際社会で活躍できる有為な人材を養成する。

大学院:国民のニーズに応じた適切なスポーツ・身体運動の指導やマネジメント及びプログラム開発、トップアスリートに対する科学的なトレーニングの指導やメニュー開発ができる能力を備えた高度専門職業人として、国内及び国際社会で活躍できる中核的な役割を担う人材を養成する。

【2】研究に関する目標

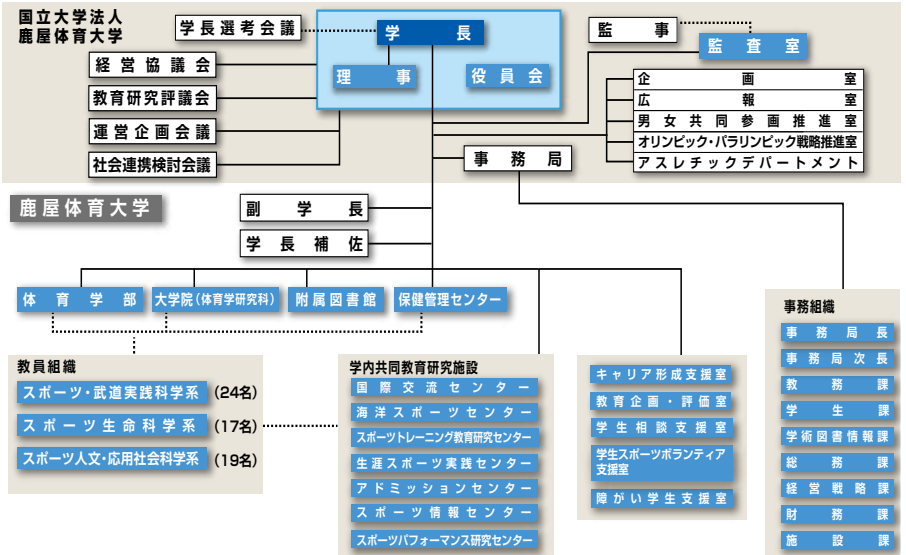
スポーツ・健康・武道分野におけるこれまでの研究実績を生かし、新たな研究領域としてグローバルなスポーツイノベーション研究拠点の構築を目指す。

また、スポーツ活動や指導の実践知に関する「スポーツパフォーマンス研究」との取り組みとも連携し、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック大会での活躍を目指す本学

■沿革

昭和 56 年（1981）	10 月 1 日	鹿屋体育大学設置
昭和 59 年（1984）	4 月 1 日	学生受入れ
昭和 60 年（1985）	4 月 1 日	外国語教育センター設置
昭和 62 年（1987）	4 月 1 日	海洋スポーツセンター設置
昭和 63 年（1988）	4 月 1 日	大学院体育学研究科体育学専攻（修士課程）設置
昭和 63 年（1988）	5 月 25 日	保健管理センター設置
平成 6 年（1994）	5 月 20 日	スポーツトレーニング教育研究センター設置
平成 10 年（1998）	12 月 1 日	スポーツ情報センター設置
平成 13 年（2001）	4 月 1 日	生涯スポーツ実践センター設置
平成 15 年（2003）	4 月 1 日	アドミッションセンター設置
平成 16 年（2004）	4 月 1 日	国立大学法人鹿屋体育大学設立 大学院体育学研究科体育学専攻（博士後期課程）設置
平成 18 年（2006）	4 月 1 日	体育・スポーツ課程をスポーツ総合課程に名称変更
平成 21 年（2009）	8 月 1 日	東京サテライトキャンパス開設
平成 23 年（2011）	4 月 1 日	外国語教育センターを国際交流センターに名称変更
平成 27 年（2015）	3 月	スポーツパフォーマンス研究棟竣工
平成 28 年（2016）	4 月 1 日	筑波大学との共同専攻設置 ・大学院体育学研究科スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程） ・大学院体育学研究科大学体育スポーツ高度化共同専攻（3年制博士課程） 筑波大学との共同専攻廃止]
[令和 2 年（2020）	3 月 31 日	スポーツパフォーマンス研究センター設置
平成 30 年（2018）	4 月 1 日	スポーツパフォーマンス研究センター設置
令和 2 年（2020）	4 月 1 日	筑波大学との共同専攻設置 ・大学院体育学研究科スポーツ国際開発学共同専攻（修士課程） ・大学院体育学研究科大学体育スポーツ高度化共同専攻（後期3年の課程のみの博士課程）

■組織・機構図（令和2年5月1日現在）

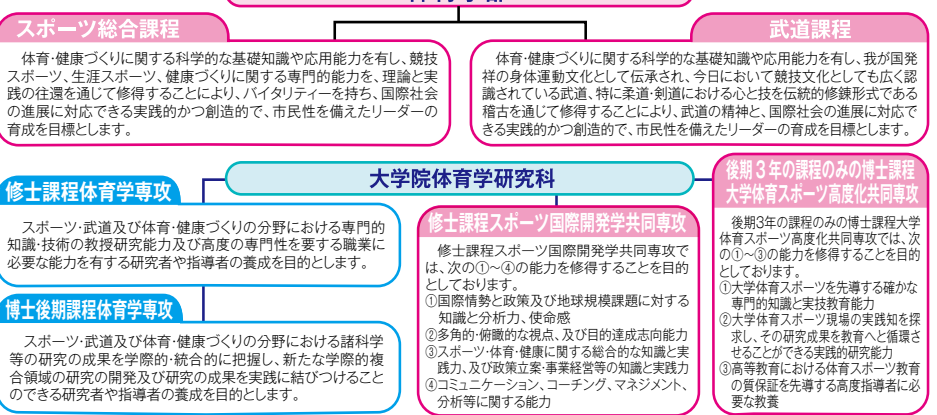


■役職員数（令和2年5月1日現在）

役員等		教 員 67						事務系職員	役職員合計
学長	理事	監事	副学長	教授	准教授	講師	助教		
1	2(1)	(2)	[2]	24	17	14	5	76	149

※【 】は兼務、役員等（ ）は非常勤で外数

■学部・大学院



■学生数（令和2年5月1日現在）

●体育学部（収容定員 720 名：スポーツ総合課程 480 名、武道課程 200 名、3年次編入学 40 名）						卒業生計 (S62－R1)
区 分	在籍者数				計	
	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次		
スポーツ総合課程	128 (29)	128 (38)	146 (38)	157 (30)	559 (135)	1,541
(体育・スポーツ課程)	—	—	—	—	—	2,427
武道課程	51 (12)	52 (14)	50 (13)	58 (19)	211 (58)	1,747
合 計	179 (41)	180 (52)	196 (51)	215 (49)	770 (193)	5,715

※（ ）は女子で内数

●大学院体育学研究科体育学専攻（収容定員 48 名：修士課程 30 名、博士後期課程 18 名）

区 分	在籍者数			計	修了生計 (H1－R1)
	1年次	2 年次	3 年次		
修士課程	13(3)	18(4)	—	31(7)	572
博士後期課程	7(1)	7(1)	8(1)	22(3)	55

※（ ）は女子で内数

●大学院体育学研究科共同専攻（収容定員 12 名：修士課程 6 名、3 年制博士課程 4 名、後期 3 年の課程のみの博士課程 2 名）

区 分	在籍者数			計	修了生計 (H29－R1)
	1年次	2 年次	3 年次		
修士課程	0(0)	2(0)	—	2(0)	5
3 年制博士課程	—	2(0)	3(0)	5(0)	3
後期3年の課程のみの博士課程	2(1)	—	—	2(1)	—

※（ ）は女子で内数

■入学者選抜状況（令和2年5月1日現在）

●学 部（入学定員 170 名：スポーツ総合課程 120 名、武道課程 50 名、3年次編入学 20 名）											
区 分	志 願 者					入 学 者					
	AO	推薦	一般	その他	3年次編入学	計	AO	推薦	一般	その他	3年次編入学
体育学部	5 (0)	72 (23)	192 (37)	2 (0)	40 (12)	311 (72)	5 (0)	55 (18)	68 (11)	0 (0)	20 (6)
	3 (2)	18 (3)	46 (8)	0 (0)	0 (0)	67 (13)	3 (2)	18 (3)	30 (7)	0 (0)	0 (12)
計	8 (2)	90 (26)	238 (45)	2 (0)	40 (12)	378 (85)	8 (2)	73 (21)	98 (18)	0 (0)	20 (6)

※その他は特別入試（社会人・帰国子女）、私費外国人留学生入試 ※（ ）は女子で内数

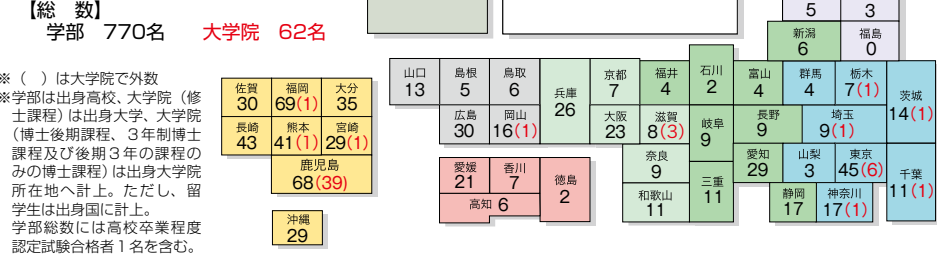
●大学院（入学定員 26 名：体育学専攻修士課程 15 名、博士後期課程 6 名、共同専攻修士課程 3 名、後期 3 年の課程のみの博士課程 2 名）

研究科	課 程	志願者	入学者
体育学研究科 体育学専攻	修士課程	20 (2)	12 (2)
	博士後期課程	7 (1)	7 (1)
体育学研究科 共同専攻	修士課程	1 (0)	0
	後期 3 年の課程のみの博士課程	2 (1)	2 (1)

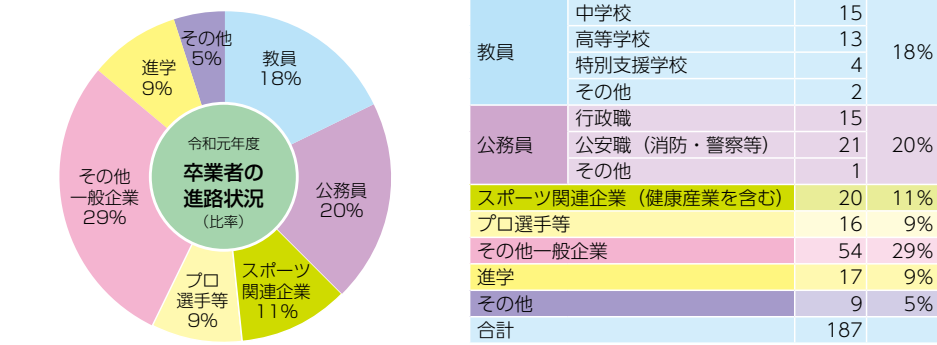
※（ ）は女子で内数

■出身校所在地別在学者数内訳（令和2年5月1日現在）

【総 数】
学部 770 名 大学院 62 名



■卒業後の進路（令和元年度実績）



※小数点以下四捨五入のため、合計しても 100%にならない。

■課外活動

体育系課外活動団体			研 究 会
陸上競技部	ラグビー部	カヌー部	e スポーツ競技・研究会
硬式野球部	体操競技部	なぎなた部	
テニ ス 部	水 泳 部	セバタクロー部	
男子バレーボール部	柔 道 部	ウインドサーフィン部	
女子バレーボール部	剣 道 部	アスレティックトレーナー部	
男子バスケットボール部	ヨ ッ ト 部	ゴ ル フ 部	
女子バスケットボール部	漕 艇 部	ダン ス 部	
サッカー部	自転車競技部		

■特色ある取り組み

●Blue Winds事業による地域密着型の社会貢献活動

本学では、大学スポーツを通して、鹿屋市をはじめとした地域の交流の輪を広げ、地域活性化に寄与する取り組み(Blue Winds事業)を行っています。この事業名は、鹿屋市と共同で創設した地域密着スポーツブランド「Blue Winds」に由来しています。

この取り組みの一環として、大学の体育施設を活用した市民参加型の運動会(かのやエンジョイスポート)や大学スポーツ観戦・応援イベント(カレッジスポーツデー)等を実施し、スポーツを「する・みる・ささえる」文化を醸成することで、大学スポーツの振興による地域社会の発展と活性化に貢献しています。

●NIFISA：NIFS International Sport Academy

鹿屋体育大学は、文部科学省が東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた国際貢献策として実施する「スポーツ・アカデミー形成支援事業」の委託先大学に採択されており、アジアをはじめとする国々の国内オリンピック委員会から推薦される将来の国際的リーダーとなる大学院生レベル以上の学生やトップコーチを対象に、「国際オリンピックマネジメントセミナー」や「スポーツパフォーマンスセミナー」等の短期間のセミナーを実施しています。

●学生の競技力向上への支援

学生の競技力向上に向けて「重点強化指定選手・チーム」を毎年度決定し、重点的に支援を行っています。令和元年度は、国際大会において体操競技が 2019FIG種目別チャレンジカップ・ギマランイス大会の 2種目で優勝、国内大会では、カヌーが 2019年度 SUBARU日本カヌースプリント選手権大会の 5種目で優勝するなどの結果に結びつきました。

また、毎年度 4月末に、日頃から競技力の向上に励む全ての学生、その育成にあたる教員等が一堂に会し、それぞれの分野における成果の発表と情報交換を行う「競技力向上の会」を開催し、学生が全国的さらには国際的トップアスリートを目指すための志気の高揚を図っています。なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため 10月に開催を予定しています。

●貯筋研究プロジェクト

近年、日本では少子高齢化が急速に進み、同時に体力・運動能力の低下も大きな社会問題となっています。本学では、「動ける日本人育成」を目指して、子どもから老人までの生活機能アップのための家庭でできる筋力トレーニングプログラム「貯筋運動」を提唱し、「貯筋研究プロジェクト」として広く振興を図ってきました。九州では鹿児島県(鹿屋市・霧島市、志布志市、南九州市、垂水市)をはじめ、熊本県、宮崎県、大分県などの自治体・機関と受託研究や委託事業を通して連携・協力し、その普及を進めてきました。

また、日本のみならずアジア、ヨーロッパ諸国においても少子高齢化の問題は避けられぬ問題となっており、特に高齢化は日本以上に進行することが予想されています。これらを踏まえ、2014年度からは「グローバル貯筋連携研究プロジェクト」として諸外国の大学、関係機関と連携し、貯筋運動の普及を進めています。これまで台湾、韓国、中国、タイ、ドイツにおいて実施しました。

●スポーツパフォーマンス研究の推進

本学では、スポーツ現場の実践知を科学的エビデンスとして創出・蓄積し、活動現場へ還元する「スポーツパフォーマンス研究」を推進するための取組を進めています。スポーツパフォーマンス研究センターを中心に、スポーツパフォーマンスを科学的に分析する実践研究を推進し、国内外のトップアスリートの競技力向上につながる科学的サポートを実施しています。また、ウェブジャーナル「スポーツパフォーマンス研究」において、競技力向上のためのトレーニング法等、スポーツにおける実践活動に寄与する知見を広く公表しています。

■附属図書館 ★どなたでもご利用いただけます。

開 館 時 間	授業期間	平日／8:30～21:00 土曜日／9:00～17:00 日曜日／13:00～17:00
	休業期間	平日／9:00～17:00
	休 館 日	祝日、休業期間中の土曜日・日曜日、開学記念日（10月1日）、年末年始（12月28日～1月4日）、夏季一斉休業期間となっています。（その他臨時に休館することがあります。）

■国際交流協定大学（令和2年5月1日現在）

大 学 名	国（地域）名	大 学 名	国（地域）名
上海体育学院	中国	韓国体育大学校	韓国
渤海大学	中国	韓国海洋大学校	韓国
天津体育学院	中国	海洋科学技術大学	
国立体育大学	台湾	スプリングフィールド大学	アメリカ
ウィルフリッドローリエ大学	カナダ	ケルン体育大学	ドイツ

■本学と連携・協力している機関

- 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立大隅青少年自然の家（おおすみくん家）**
連携事項：相互の人的・知的資源の交流と物的資源の活用によるスポーツ体験活動等を通じた社会貢献及び教育研究分野の発展に資するための連携・協力事業など（H18.11.2～）

- 独立行政法人 日本スポーツ振興センター 国立スポーツ科学センター（JISS）**
連携事項：体育・スポーツ科学の研究分野の進展、大学院教育の連携など（H19.1.15～）

- 鹿屋市・垂水市**
連携事項：教育・文化・スポーツの振興、健康及び福祉の充実、まちづくり、地域産業の活性化、生涯学習の推進など（鹿屋市 H22.10.1～、垂水市 H29.3.29～）

- 国立大学法人 筑波大学**
連携事項：体育・スポーツ分野における教育研究の発展、本分野における我が国の先導的役割を果たしていくための事業展開など（H24.4.26～）、大学院における共同教育課程の設置（R1.8.19～）

- 国立大学法人 熊本大学大学院教育学研究科・国立大学法人 鹿児島大学大学院教育学研究科・国立大学法人 宮崎大学大学院教育学研究科（教育学部）**
連携事項：「体育学・スポーツ科学連携大学院教育プログラム」実施に向けた事業の推進など（H26.3.20～熊本大学・鹿児島大学）（H29.11.9～ 宮崎大学）

- 学校法人浪商学園 大阪体育大学・学校法人梅村学園 中京大学**
連携事項：「国際スポーツ・アカデミー形成支援事業」実施に向けた事業の推進など（H27.1.15～）

- 国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学・独立行政法人 日本スポーツ振興センター**
連携事項：「スポーツエンジニアリング分野」における研究の推進及び人材の育成並びに社会の発展に寄与することを目的とした連携（H27.6.12～）

- 学校法人二階堂学園 日本女子体育大学・学校法人順天堂 順天堂大学・学校法人 早稲田大学スポーツ科学学術院**
連携事項：体育・スポーツ分野における教育研究を発展させることを目的とした連携（H27.7～）

●株式会社 南日本放送

連携事項：鹿児島県内のスポーツによる発展に寄与することを目的とした番組制作及び放送事業展開など（H27.8.4～）

●シエルブルー株式会社

連携事項：競技力向上の実現、競技力向上の実現を目的とした研究、共同で企画し実施する地域貢献活動など（H30.8.23～）

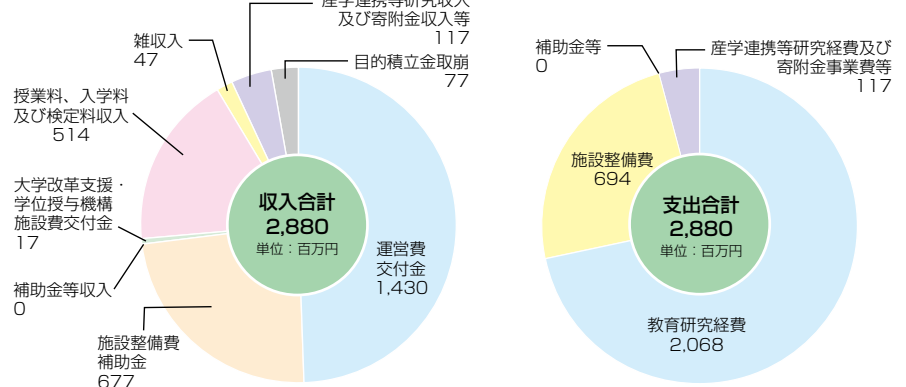
●鹿児島県

連携事項：ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅の利用促進と陸上競技の競技力向上など（H30.11.26～）

■大学開放事業（令和2年度4月当初実施予定）

●公開講座 16 講座		●学長杯スポーツ大会	
講座区分	開設数	大会種目	開催時期
ス ポー ツ 講 座	9	オープンヨットレース	8 月
健 康 講 座	3	破 魔 投 げ 大 会	11 月
一 般 教 養 講 座	4	サ ッ カ ー 大 会	11 月

■令和2年度予算額



※ 記載金額は百万円単位とし、表示単位未満は四捨五入して表示